

経済学部

教育理念

本学部は「21世紀が求める実践的エコノミストの育成」を理念とした教育を行っています。

「実践的エコノミスト」とは経済の専門的知識を豊富にもつと同時にそれらを実践活動に生かすことができる人で、それは、

- 【1】広い教養と基礎的知識、新たな専門的知識
 - 【2】情報処理・計量的処理・コミュニケーションなどの知的技術
 - 【3】知識と技術を駆使して問題解決方法を生み出す思考能力
- という3つの要素を兼ね備えた人です。

アドミッション・ポリシー

大学入学はゴールではなく「これから大学で勉強する」といった強い学習意欲、積極性、行動力を発揮する学生にとっての出発点でなければなりません。本学部は、自分の将来像をよく考え、明確な目的意識をもって積極的に学ぼうとする学生を求めています。

本学部は、「激動する現代経済社会の発展に貢献する実践的エコノミストの育成」を教育理念として、グローバル化、情報化が進む現代経済社会の諸問題を解決し、社会の調和的発展に貢献する能力をもつ人材の育成を目指しています。このような人材は、広い教養や経済・経営に関する知識をもち、問題解決の支援および結果を伝達する知的技術を身に付け、これら知識と技術、さらに創造的思考を組み合わせ、問題を論理的に解決できる能力を備えた人材であると考えています。先端的な領域に進むほど総合化していく現代社会の課題の解決においてはこうした能力の重要性はさらに高まります。

こうした人材を育成するため、本学部が重視する学生の資質は、(1)学力、(2)論理的思考力と表現力、(3)意欲、積極性や行動力、(4)志望や適性、です。学力は入学後の大学教育に対する基礎学力として重視されます。学力はむろん必要ですが、それは断片的な知識の単なる蓄積や記憶力ではなく、論理的に物事を考え表現する力、マニュアル化されていない問題に取り組む意欲、問題探求解決能力を伴うものでなければなりません。本学部ではこうした潜在能力を高め、推し進めることを目標としています。

教育目的

昼間コース

経済分析と政策コース: 経済学の基礎理論に基づいて現代経済社会を分析・理解し、経済制度に関する広い知識をもって諸問題に適切に対応しうる実践的能力を備えた人材を育成する

経済と法コース: 経済学の基礎理論と経済活動に隣接する法分野を同時並行的に学ぶことにより、現代経済社会を多角的視点から分析・理解し、諸問題を解決しうる実践的能力を備えた人材を育成する

国際関係コース: 日本を取り巻く国際関係、あるいは各国・各地域の社会と文化の独自性、多様性の深い理解に基づいて、国内外で新しい時代を支える教養と心豊かな人材を育成する

ファイナンスコース: 金融システム・金融機関行動・金融関連法など多岐にわたる金融事象をひと通り総合的に理解できるようになるとともに、現実の問題に対して専門的見地に基づく的確で具体的な判断能力を持つ人材を育成する

経済経営情報コース: 経済学と経営学の基礎理論に加えて、経済・経営の両領域における情報の価値と利用に関する知識をもち、現実データの処理に基づいて実証分析ができる実践的能力を備えた人材を育成する

経営と会計コース: 企業行動、経営管理、企業会計に関する広い知識をもち、現代経済社会の重要な構成要素である企業の活動を分析・理解し、諸問題を解決しうる実践的能力を備えた人材を育成する

夜間主コース

総合経済コース(夜間主コース): 勤労者、主婦層、退職者などの社会人を対象としたりカレント、生涯学習のための夜間教育研究コースであり、総合的な視点からの現代の経済、経営における基礎体系および実践的能力を持つ人材を育成する